

明日から13日間の夏休みになります。コロナによる臨時休業が長期間にわたったため短縮されましたが、目標や計画を立て、有意義に過ごしてほしいと思います。

さて、今日は「アマビエこけし」についてお話ししたいと思います。疫病退散の願いを込めて福中生全員がつくったアマビエこけしは、各学年ごとに、先週、様々な場所に贈られました。

白石市長さんには、生徒会を代表して、菅野陽葵さんと佐藤琉哉さんが届けてくれました。とても喜んでいただきました。市長さんからは「皆さんのやさしさに感動しました。本当にうれしいです。ありがたいです」という言葉をいただきました。他にも贈り先の方から、感謝と感動の言葉が、電話やはがきなどでたくさん寄せられています。

さて、どうしてこの「アマビエこけし」が人々をこんなにも感動させるのでしょうか。それは一つ一つの「アマビエこけし」に込めた一人一人の思いに真心がこもっているからだと思います。真心が込められたもの、一生懸命取り組んだものは「美しい」。それが相手の心に伝わり、感動を与えるのです。

皆さんも自分の夢や志に対して、真心を込めて、一生懸命取り組んでほしいと願います。必ずその姿を見ている人がいます。応援してくれたり、支えてくれる人は必ずいます。また、逆に皆さんも、一生懸命頑張っている人には応援したくなりますよね。このように自分を高めること、人を認めることをこれからも大切にしてほしいと願います。

最後に、明日からの夏休み、例年にも増して、健康に注意して過ごして下さい。手洗い、マスク、3密を避けた行動を心掛けてください。夏休み明け、また元気に会いましょう。

